記入心得（全部調査の分）

一、此調査は震火災に關する各般の善後施設及帝都其の他災害地復興に付最も大切な基礎資料となるのでありますから正直に有の儘を書いて下さい。

一、此の票に書かれた個々の事柄は決して他人に漏したり公表したりすることはありませんから安心して事實有の儘を書いて下さい。

一、此の調べは災害を受けた人でも受けない人でも避難して居る人でも凡て一人毎に調べるのでありますから銘銘に個人票に調査事項を記入し尚震災當時の世帶主又は之に準ずべき人（世帶主が死亡し又は行衛不明のときは生殘つた家族の內で世帶主に代るべき人）に限り各別に世帶票を拵へて下さい若し一軒の家に二軒の人が避難して居るときは世帶票二枚を作るのであります、但し世帶主と家族が別々に避難したときは世帶票は世帶主の方から出し家族の方は個人票のみ書けばよいのです。

一、此の調べは凡て十一月十五日現在に依つて調べるのであります。

一、世帶票

此の票は世帶主又は之に準ずべき人が自分と現に一緒に居る家族及震災に依り死亡し又は行衛不明となつた家族に付て拵へるのでありますから若し他の場所に別れて居る人があつても世帶人員の計算には入れないで下さい。又學生生徒工女職工旅行者等震災當時旅館下宿屋とか寄宿舍等に居つて獨立の世帶を持たなかつた人は世帶票を拵へる必要はありませぬ。

一、「調査區」の欄には市區町村長「調査員氏名」の欄には調査員が記入するのであります。

一、世帶主の「住居所氏名」欄中「現居所」には調査せらるゝ世帶主（又は之に準ずべき人）の現に避難した場所（避難者でない者は現住所）を何番地何官公署、何學校何バラック何假小屋內何々方等と「震災當時の住所」欄には震災當時住んで居た住所（震災地以外の者で震災地に滯在して居つた者は其居所）を記入し其下に氏名を書いて下さい。

二、「世帶人員」欄の「現存者」欄中「無事」とある所には震災の爲め死傷しなかつた人の數を「重傷」の所には震火災の爲め重傷を受け不具癈疾となつた者又は不具癈疾となる見込の者若くは三十日以上休業して療養した者の數を「輕傷」の所には震火災の爲め負傷を受け七日以上休業して療養した者の數を、「計」の所には以上の合計を「死者行衛不明者」欄中「死亡」「行衛不明」の所には夫々震火災の爲め死亡した人又は行衛不明となつた人の數並に其の合計を「合計」とある所には右現存者及死者行衛不明となつた者の合計を「失職」とある所には現して居る人の內で震災當時職業を持つて居つたが震火災の爲めに工場會社等が燒けたとか解散したか等に依り職を失ひ現に職業のない人の數を個人票の職業欄から數へて記入して下さい、世帶人員數には世帶主をも入れて數へて下さい、該當事項のない欄には斜線を引いて下さい。

三、「住宅罹災の種類」欄中「全燒」「全潰」「全流失」は震水災の爲め全く住居することが出來なくなつたもの「半燒」「半潰」「半流失」は其の儘修繕を加へれば住居に利用が出來るもの「破損」は住居に差支なきも震災の爲め大分破損したもの「無破損」は何等被害のないもの又は壁にヒビが入り瓦か多少落ちた位な程度のものを標準として夫れ〳〵區別して當該文字の右側に◎印を附けて下さい。

四、備考欄には震災當時同じ世帶に居た人で現に別々な所に居る人があれば其の場所及氏名を又震災地以外の人で震災當時一時震災地に滯在し其居つた家や旅屋又は下宿等が燒けたり潰れたりして災害を蒙つた場合等各記入事項中說明を要する事柄を其旨書いて下さい

世帶票を拵へる場合は其世帶に屬する各人の個人票は世帶票と一括して世帶票の人員數と個人票の枚數と同一であるかどうか數へて重複や脫漏のない樣にして下さい。

二、個人票

一、「住居所氏名」欄中「現居所」「震災當時の住所」「氏名」は世帶票（一）の說明に準じ「世帶主又は世帶主との續き柄」の所には世帶主とか妻とか（內緣でも構ひません）長男とか妹又は女中とか世帶主又は世帶主との續柄を書いて下さい。

二、「避難場所の種類」欄には親族の家に居るか知己の家に居るか無關係の人の家に居るかに從ひ當該文字の右側に◎印を附け自己所有の家や新に借家して避難した人又は官公署學校バラック等に居る者は其旨下方に記入して下さい若し住宅が燒流失又は破壞せずして元の家に住つて居る人は斜線を引いて下さい。

三、「體性年齡死傷病」欄中「男女の別」とある所には男又は女と書き「年齡」の所には數へ年を何歲と書き「重傷」「輕傷」「病氣」「死亡」「行衛不明」の所には震火災に因り重傷を受けたか輕傷を受けたか（區別の標準は世帶票の說明に依る）死亡したか行衛不明となつたか又は病氣に罹つたかに依り夫々當該文字の右側に◎印を附けて下さい死亡行衛不明現存しない人に付ては世帶主家族知人調査員等に於て便宜判明する事項のみ記入して下さい、一世帶全部死亡行衛不明になつた家族がある場合も右に準じて世帶票個人票を拵へて下さい。

四、「職業」欄中「震災當時の職業」「現職業」の所には「何工場何工」とか「何銀行出納員」とか「生魚小賣商」とか仕事の種類を可成詳しく書き職業なき時は斜線を引き現職業あるも一時的の職業に從事する者は其職業と共に一時的なるや否やを書き「希望職業」の所には現に職業なき者又は一時的の職業に從事する者に限り希望する職業を書いて下さい。

五、「住宅罹災の種類」欄は世帶票（三）の說明に準じて書いて下さい。

六、「今後の住所」欄には今後住居しようとする府縣郡市（區）の名を書いて下さい、但し現居所に其儘居らんとする者又は「震災當時の住所」に歸らんとする者は「現居所」又は「震災當時の住所」と書いても差支ありません「現居所」「在留見込期間」の所には現に居る場所に今後尙何日住居する見込であるかに依り「何年位」「何月位」「何日位」と記入して下さい。

七、備考欄は世帶票の（四）の說明に準じて下さい。